

北区の部屋だより

第41号

2012年12月



刊行物登録番号 23-2-076

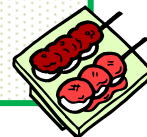
編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 Tel.03-5993-1125 平成 24 年 12 月発行

北区こぼれ話 第40回

素朴な難問 江戸時代の

一両
一両

1両、今いくら?!



最近このコーナーで江戸時代の金銭の話を書いたことで、とある問いを集中して投げかけられるようになりました。それが「今の金に換算するといくらぐらい?!」というヤツです。これは、誰でも思う素朴な疑問だと思いますが、これを明確に答えるのは非常に難しいのです。江戸時代の1両をいくらとするか、それこそ研究者によっても答えは様々だと思います。

よく用いられる手法は、当時のモノの値段と今の値段とを比較して計算するといったものですが、これは何を基準にして換算するかで現在の金額が大きく異なります。例えば、蕎麦。落語にも登場するので馴染みかと思いますが、蕎麦1杯を銭16文とし、これを現在の蕎麦の値段と比較して計算します。駅の立ち食い蕎麦で250円程度でしょうか（現在の蕎麦1杯の値段をいくらと想定するかでも異なってきます）。江戸文化が花開いた文化・文政期（1804～29）でみれば、金1両は銭5貫文（＝5000文）ぐらいでしょうか（金と銭の交換相場でも変わってきます。）。すると、ちょうど300杯。（何で300杯になるのか不思議な人は「北区の部屋だより」38号を見てください）。これで計算すると金1両は7万5000円になります。お団子1串銭4文、これを1本70円で計算すると金1両は8万4000円となり、蕎麦で考えるより若干、高めになります。

一方、江戸っ子も大好きだといわれた銭湯。これを基準にすると金額は大きく変わります。江戸時代の湯銭は概ね銭8文と蕎麦より安く、これを現在の銭湯の値段450円で計算しますと金1両が27万円にもなります。

こうした1品の換算ではなく年収などで比較する人もいます。『文政年間漫録』という史料に江戸時代の農家の収入や大工の手間賃といったものが記されています。例えば、大工の場合、1日の賃金が銀5匁4分、年間294日働くとして年収銀1,588匁、と記しています。これを金1両＝銀50匁で計算すると金32両弱でしょうか。私は大工さんの年収をいくらに想定していいのか判断が付きませんが、みなさんの参考にはなりますか？

と、いろいろと記してきましたが、とにかく難しいということが判っていただけましたでしょうか。まあ、ここまで記しても「で、だから一体いくらなの?!」と聞いてくる人も多く頭を抱える次第なのですが、そういった方々には、金1両10万円、銭1文20円と答えています。理由?! 理由は、そんなに的外れな金額でもなし、何より計算がしやすいからです。

【北区の部屋・地域資料専門員 保垣孝幸】

「北区の部屋」11月～12月期展示

北区の商店街



赤羽の一番街商店街の入り口(昭和28年)

期間 11月23日(金・祝)～
12月28日(金)

場所 「北区の部屋」企画展示コーナー

2012年(平成24)3月現在、北区には90の商店街があります。その規模は大小さまざまですが、私たちが暮らす街には、必ず1つは商店街があるといっているでしょう。

今回の展示では、そんな北区の商店街にスポットをあてて、その歴史に迫ります。

公開歴史講座が開催されました!

10月27日(土)に北区の部屋の黒川徳男地域資料専門員による公開歴史講座「北区のフロンティア浮間一水を求めた140年」が中央図書館で開催されました。

川に囲まれていたにもかかわらず水に恵まれなかったという浮間の近代史について、初めて知る参加者も多く、「浮間を訪ねてみようと思った」「浮間で酪農が行われていたとは驚き」「身近な話が聞けてよかった」などの感想が寄せられました。



北区の部屋 レファレンス あれこれ

北区の部屋では、北区に関するさまざまな質問を受けています。その一端をご紹介します。

Q、昔、「北区公会堂」があったと思いますが、いつ閉館したのですか?

A、昭和35年(1960)8月に開館した北区公会堂は建物の老朽化により平成2年9月30日に閉館となりました。かわって、同年の9月17日に「北とぴあ」がオープンしています。北区公会堂では、よくテレビ収録も行われていたそうです。

現在北区公会堂があった場所には、北区役所に来庁する方々が利用できる立体駐車場が建てられています。

参考文献:『北区ニュース(綴)平成2年』
(北区の部屋所蔵)



よろしく
お願い
します!



中央図書館
「北区の部屋」では、
北区の歴史に
関わる資料を
探しています!!

皆さんのお宅に、北区に関わる古い写真や地図・文書などは眠っていませんか? 中央図書館「北区の部屋」では、このような資料を地域資料として収集しています。江戸・明治期だけでなく、大正・昭和の資料も地域を知るための大変貴重な資料となりますので、ぜひご一報ください。

北区の部屋だより

第42号

2013年1月

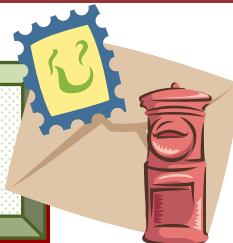


刊行物登録番号 23-2-076

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 ☎03-5993-1125 平成 25 年 1 月発行

北区こぼれ話 第41回

ゆうびん 北区の郵便ことはじめ



お正月に、ゆっくりされた方が多いことと思います。逆に、一年で一番忙しい思いをしているのは、年賀状を扱う郵便局の皆さんです。今回は、郵便局のお話しをしましょう。

日本の郵便は、明治4年（1871）東京・京都・大阪で始まりました。郵便の父と呼ばれる前島密（一円切手に描かれている人）によって立案されました。

一円切手の
前島密
（日本郵便
提供）

では、北区で手軽に郵便が利用できるようになったのはいつ頃からでしょうか。

赤羽地区での郵便の始まりは、明治6年（1873）です。岩淵に郵便取扱所が置かれました。それは、明治19年（1886）まで続きました。その後、板橋郵便局管轄の時代を経て、明治24年（1891）赤羽に赤羽郵便局が設置されました。岩淵から赤羽へ移ったのは、輸送ルートが、街道から鉄道へ変化したためでしょう。これは、余談ですが、昭和の終わり頃、トラック輸送が主流になり鉄道郵便車が廃止されると、都市部の大きな郵便局は、再び駅から遠ざかっていきました（トラック駐車場の確保のほか、駅周辺の再開発や地価高騰も関係しているようです）。



一方、王子地区や滝野川地区の場合、明治の初めごろは、本郷追分（日光御成道の最初の一里塚あたり）まで行かなければ郵便物を投函できませんでした。そこで、渋沢栄一と製紙会社（王子製紙）専務の谷敬三が話し合い、前島密へ郵便取扱所設置の陳情書を提出したそうです。これが功を奏し、王子郵便取扱所が、明治18年（1885）王子駅前の王子大橋近くに置かれました（『100年のあゆみ』王子郵便局）。王子製紙の業務のため、必要だったということでしょう。

王子郵便局は、昭和初期まで滝野川地区も管轄していました。昭和12年（1937）になって滝野川郵便局が新設され、滝野川地区は、王子局の管轄から独立しました。

このように見ていくと、郵便局ができた順番は、赤羽・王子・滝野川となります。都心から離れるほど時期が早いのです。その理由は、明治初期、郵便局の数が少なく、一つの局あたりの管轄地域が広がったのが、その後、郵便の普及とともに局の数が増え、各局の管轄が（間隔も）せまくなっていったためと考えられます。



【北区の部屋 地域資料専門員 黒川徳男】



北区の部屋 1月の展示

場所：

「北区の部屋」企画展示コーナー

期間：1月5日（土）～23日（水）

北区の部屋には、区民の皆様や区の職員が撮影したたくさんの写真があります。今回の展示では、その中から、子どもたちが写っている昭和20年代30年代のものを選んでみました。子どもたちの笑顔だけでなく、そのしぐさや服装、そして背景に写っている景色などもごらんください。ある年齢の方にとっては、なつかしい光景が写っています。若い方は「昔はこうだったのか」と驚かれるでしょう。子どもたちの写真から、北区の戦後史が見えてきます。

テーマ

昭和の子どもたち



桐ヶ丘小学校のおともだち
赤羽郷（桐ヶ丘）
昭和20年代
渡辺肇氏撮影



紙芝居を見る
子どもたち
赤羽周辺 昭和24～25年頃
渡辺肇氏撮影

今月の行事

【北区図書館活動区民の会企画・運営】

親子参加型ワークショップ

「親子で謎解き！

中央図書館ナイトツアー」

日時：平成25年1月13日（日）

午後5時～

場所：中央図書館

（募集は終了しました。

ごめんなさい！）



北区の部屋レファレンスあれこれ

北区の部屋では、北区に関するさまざまな質問を受けています。その一端をご紹介します。

Q、戦後、アメリカ軍が没収した日本刀が北区にあるという話を聞きました。本当ですか？

A、終戦後、アメリカ軍が没収した日本刀は、赤羽台地上の米軍兵器補給廠で保管されたため「赤羽刀」と呼ばれています。赤羽刀は東京国立博物館で保管された後、所有者に返還されました。1995年、所有者不明のもので歴史的価値のあるものは、全国の博物館に譲渡されました。

参考図書：『図解日本刀事典』（学習研究社、2006年）

お気軽にご質問
ください



今後の行事予定

北区図書館活動区民の会企画・運営 歴史講演会

専売事業と王子の意外な関係

～たばこ機械製作所（堀船）の歩みと現在～

日時：2月17日（日）午後2時～4時

場所：中央図書館3階ホール

講師：鎮目良文氏（たばこと塩の博物館学芸員）

申し込み方法は北区ニュース1月20日号をご覧ください。
か事業係（☎5993-1125）へお問い合わせください。

北区の部屋だより

第43号

2013年2月



刊行物登録番号 23-2-076

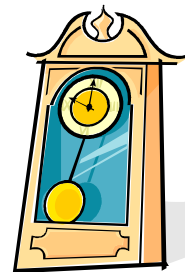
編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 ☎03-5993-1125 平成 25 年 2 月発行

北区こぼれ話 第42回

江戸時代の「暮れ六つ」、 今の何時頃?!

このあいだ友人と江戸時代の話になり、「暮れ六つ^{くむ}」っていえば、もう真っ暗だね、というので、そうだね、と聞いていたのですが、これが夏だったら「暮れ六つ」でもまだ明るいのに、と続けるので、えっ?!と聞き返してしまいました。友人は、「暮れ六つ」を午後 6 時頃と覚えていたようなのです。確かに、ものの本には「暮れ六つ」を午後 6 時頃と記しているものがあります。しかし、これはあくまで目安で、本来江戸時代の「暮れ六つ」とは日没の時間を示します。だから、夏と冬では「暮れ六つ」の時刻は変わり、夏だと午後 7 時近く、冬だと午後 4 時 30 分過ぎってところでしょうか。

江戸時代では、日の出の時間を「明け六つ^あ」、日没の時間を「暮れ六つ」とし、この間を六等分して時間が把握されていました。したがって、一時^{いっとき}（六つから五つの間など、時間の単位）も普通なら 2 時間ですが、季節によって、そして同じ日でも昼と夜とでは長さが変わります。冬至頃^{とうじ}で考えてみると、昼の一時は 1 時間 50 分程度で、夜の一時が 2 時間 10 分程度でしょうか。逆に夏至^{げし}近くでは、昼の一時が 2 時間 30 分を超え、夜の一時が 1 時間 30 分に満たないことになります。これを一般に不定時法^{ふていじほう}といい、江戸時代には、普通に使われていました。



さて、話を冒頭の「明け六つ」「暮れ六つ」に戻すと、私たちがこれを今でいう何時頃か想像するため、春分や秋分あたりを想定しつつ、午前 6 時頃、午後 6 時頃と覚えます。しかも「六つ」と「六時」、「六」が一緒なので覚えやすく、そして、間違いではありません。しかし、こうした覚え方には落とし穴があり、季節によって「暮れ六つ」の時刻も変わり、一時の長さも変わるのです。現在の時間感覚に慣れてしまっている私たちには、非常に不便のように感じますが、日の出とともに起きて、日没で寝るという江戸時代の生活を考えれば、それはそれで合理的だったような気がします。



【北区の部屋・地域資料専門員 保垣孝幸】

今月の展示

北区、あの頃 ～40年前の風景～

期間：1月25日（金）～
2月27日（水）

場所：北区の部屋 展示コーナー



北区の部屋アンバサダーコーナーに配置されていたドナルド・キーン氏の書籍は「ドナルド・キーンコレクションコーナー」に移動しました。

世界的な日本文学者で北区アンバサダーも務めるドナルド・キーン氏から中央図書館に貴重な図書を寄贈していただき、1月25日から「ドナルド・キーンコレクション」コーナーが開設しました。

キーン氏は1974（昭和49年）北区西ヶ原に居を構え、毎年数カ月間は北区で執筆活動をされており、東日本大震災後、日本への永住を表明して、現在は北区民の一人として様々な活動を続けておられます。

今回の展示では、キーン氏が暮らし始めた1974年を中心に、今から40年前の北区について紹介します。

今月の行事

北区図書館活動区民の会企画・運営 歴史講演会

専売事業と王子の意外な関係
～たばこ機械製作所（堀船）の
歩みと現在～

日時：2月17日（日）午後2時～4時

場所：中央図書館3階ホール

講師：鎮目良文氏（たばこと塩の博物館学芸員）

申し込み方法は北区ニュース1月20日号をご覧ください。事業係（☎5993-1125）へお問い合わせください。

今後の行事予定

公開歴史講座

幻の滝野川大砲製造所と 地域の人々



幕末期に計画された、滝野川大砲製造所に関する最新の調査結果をわかりやすく紹介します。

日時：3月9日（土）午後2時～4時

場所：中央図書館 3階ホール

講師：保垣孝幸^{ほがきたかゆき}地域資料専門員

対象：区内在住・在勤・在学の中中学生以上
定員：50名（抽選）

申込：往復はがきに講座名、郵便番号、住所、氏名、（ふりがな）、年齢、電話番号（Fax番号）、返信用面には申込む方の住所、氏名を記入して2月26日（火）（必着）まで。

お問い合わせは事業係まで（☎5993-1125）

小学生向け親子参加型ワークショップ

「親子で謎解き！中央図書館ナイトツアー」 が開催されました。



1月18日（日）閉館後の中央図書館に赤レンガ図書館の謎を解く親子58名が集結！4チームの調査隊に分かれ、図書館の謎を追いました。区民の会のメンバーが研究員に扮し、謎ときのお手伝い。探検後は研究所長に扮する保垣孝幸地域資料専門員からの総合解説を受け、調査報告を作成。参加者からは「知らなかった歴史を楽しめた」「図書館の裏側が見られて良かった」などの感想が寄せられました。

当日参加した子どもたちの調査報告は、北区の部屋入り口左手の「ラチス柱」横の展示スペースでご覧いただけます。



北区こぼれ話 第43回

軍用犬の影を赤羽に追う



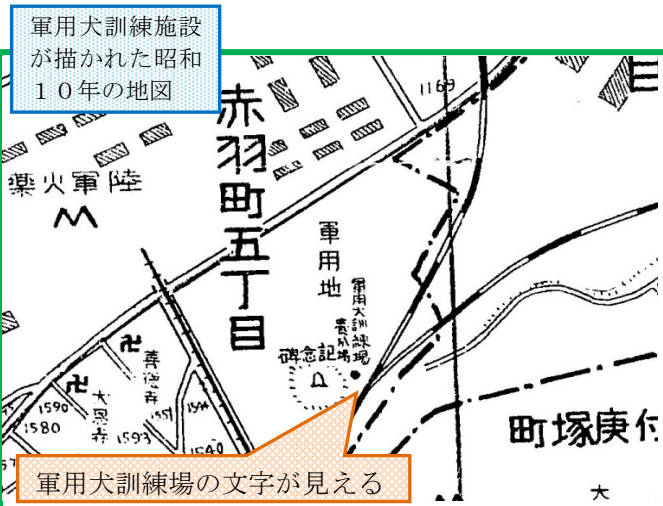
軍用犬の絵葉書

「北区の部屋」には、いくつかの古い絵はがきがあります。その中の2葉には、兵士と犬が写っています。「帝国軍用犬協会第二回展覧会記念絵葉書」の文字も印刷されています。『北区史』編集の資料として、古書店から購入されたものです。陸軍被服本廠（現、赤羽台団地）の絵はがきとセット販売でした。これらがセットだったのは、単なる偶然と思っていました。北区の郷土史関係の文献に、軍用犬の話は出てこないからです。

調べ物で『北区の同潤会住宅について』という資料を見ているとき、綴じ込まれている昭和 10 年(1935)の地図に目がとまりました。そこに「軍用犬訓練場養成場」の文字があったのです。現在、赤羽西五丁目アパートが建っている場所です。桐ヶ丘団地（旧、陸軍火薬庫）の南向かいです。なぜ被服本廠と軍用犬の写真がセットで売られていたのか合点がいました。もともと、被服本廠と軍用犬の施設は隣りあったのです。

調べてみると、赤羽の軍用犬のことは、今でも愛犬家の雑誌や専門書などで取りあげられています。それらによれば、帝国軍用犬協会は、昭和 7 年（1932）の設立で、昭和 8 年(1933)赤羽に第一軍用犬養成所を開設しました（のちに武蔵境へ移転）。

赤羽の軍用犬が世間の注目を集めたのは、昭和 11 年(1936)7月、上野動物園からクロヒョウが脱走したときです。上野のクロヒョウ事件は、尾久の阿部定事件や 2.26 事件とともに「昭和 11 年の三大事件」と言われました。当時の新聞によれば、警視庁新選組(特別警備隊の俗称)まで出動する騒ぎでした。その時に、赤羽の軍用犬(シェパード2頭)も、追跡のために出動しました。結局、クロヒョウは、東京府美術館（現、東京都美術館）近くの下水管の中にいるところを動物園職員に発見されました。場所が下水管だけに「トコロテン戦術」なる方法で御用となり、帝都を騒がせた脱走劇は一件落着となりました。



このクロヒョウ事件には、悲しい後日談があります。戦争中、この事件が、猛獣を処分する理由の一つにあげられたのです。空襲でおりが壊れ、あの時のクロヒョウのように猛獣が脱走したら…と。

そして、赤羽などにいた軍用犬たちにも、過酷な運命が待っていました。東京九段の「軍犬慰霊像」の説明には「その大半は、あるいは敵弾に斃れ、あるいは傷病に死し、終戦時生存していたものも遂に一頭すら故国に還ることがなかった」とあります。

【北区の部屋・地域資料専門員 黒川 徳男】

今月の展示



北区図書館活動区民の会・地域資料部会 企画展示

専売事業と堀船の意外な関係
～たばこ機械製作所のあゆみ～

期間：3月1日（金）～

3月28日（木）

場所：北区の部屋 展示コーナー

2月17日（日）に中央図書館で行われた
講演会「専売事業と王子の意外な関係
～たばこ機械製作所（堀船）の歩みと現在～」
に関連した展示を行います。

北区図書館活動区民の会とは？



区民の方々が図書館のパートナーとして、図書館が「協働の場」「生涯学習の場」「創造の場」に発展する活動を行うことを目的に設立されました。現在「地域資料部」「企画・広報部」「ユニバーサル部」「子ども部」の4つの部に分かれ協働の活動を行っています。

地域資料部会では、講演会、ワークショップや今回のような北区の部屋展示の企画・運営を通して図書館の「地域資料」の充実に貢献しています。

「区民の会」にご興味のある方は、案内パンフレット等をご用意していますのでお問い合わせください。

連絡先：北区図書館活動区民の会事務局

電話 03-5993-1125（中央図書館内） 内線 350

今月の講演会

公開歴史講座

「幻の滝野川大砲製造所と地域の人々」
幕末期に計画された、滝野川大砲製造所に関する最新の調査結果をわかりやすく紹介します。

講師：保垣孝幸地域資料専門員

日時：3月9日（土）午後2時～4時

場所：中央図書館 3階ホール
（参加募集は終了しています）

ちょっと

新着紹介



北区赤羽界隈を紹介するムック本です。

赤羽散策のお供に

『赤羽 Walker（ウォーカー）』
（2013.1月 角川マガジンス発行）

中央図書館・北区の部屋が所蔵する
古い写真がいくつか使われています。



7冊揃いました！

北区の歴史はじめての一步
王子西地区編、浮間地区編が完成！

この冊子は3月19日（火）から
区内図書館で閲覧・貸出するほか、
下記で販売します。

販売価格：1冊300円

中央・滝野川・赤羽図書館、飛鳥山博物館、北区役所第1庁舎区政資料室

初めて北区の歴史を学ぶ方々のための歴史入門書『北区の歴史はじめての一步』『王子西地区編』『浮間地区編』が完成しました。

今回の刊行で、区内全ての地区（全7冊）が揃いました。
皆さんがお住まいの地域の特徴を再確認すると同時に、ふるさと北区の歴史をぜひお楽しみください。

（該当地区の区立小学校3年生以上の児童全員には無償配布予定です）

北区の部屋だより

第45号

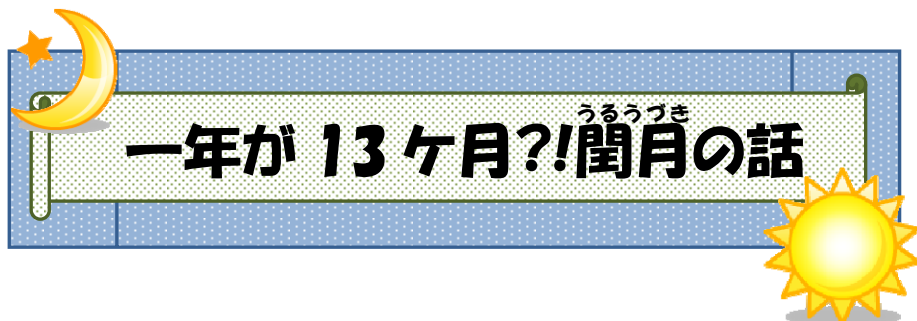
2013年4月



刊行物登録番号 24-2-070

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 ☎03-5993-1125 平成 25 年 4 月発行

北区こぼれ話 第44回



年度末を迎えて何かと慌^{あわただ}しい日々が続き、一年が13ヶ月あればいいのにと考えたことはありませんか。実は、一年が12ヶ月と定まったのは明治時代の話。江戸時代には13ヶ月ある年も少なくありませんでした。それは閏^{うるうづき}月があったからです。

江戸時代が、月の満ち欠けを基準とした太陽太陰^{たいようたいいんれき}暦を使っていたことはご存知でしょうか。月が欠けて満ちて再び欠けるまでを1ヶ月とし、これを12回繰り返して1年です。ところがこの周期でいくと1ヶ月はおよそ29日とちょっと。現在の1年365日と比較すると、1年間で11日ほど少ない計算になります。したがって、これをそのまま使い続けるとどんどん季節がずれてしまい、17~8年もすれば真夏に正月を迎えるようにすっかり季節が逆転してしまうことになるのです。そこで、約3年に1度(19年間に7度)、1ヶ月を加えて13ヶ月とし、季節とのずれをなるべく少なく調整しました。こうして加えられた月が閏^{こひみ}月です。例えば、この3月の後に閏月が入っていたとすれば、暦は3月、閏3月、4月となります。現在の閏年が、2月が29日まである1年366日の年のことであることから、江戸時代の閏月も1ヶ月の日数が多い月のことだと勘違いしている方もおられるようですが、閏月とは、ある年に加えられたまるまる1ヶ月そのものをいいます。それゆえに、一年間が13ヶ月ある年が、およそ3年に1度ぐらいの割合で訪れていたのです。

これは、知識としては知っていてもうっかりすると見落としてしまうことが間々あります。

3月15日から4月15日までと言われ、現在の暦に慣れた私たちは、何の疑いもなく1ヶ月とってしまいましたが、実は、この年には閏3月があり2ヶ月間かもしれないのです。

【北区の部屋・地域資料専門員 保垣孝幸】



春



夏



秋



冬

今日の展示

新収蔵写真展 — こんな写真いただきました。集めました。 —

期間: 3月30日(土)～4月24日(水)

「北区の部屋」では、多くの区民の皆様から、風景や行事の写真をいただけてきました。また、北区に関わる資料を収集していますが、その中には、古い絵はがきや写真帖なども含まれています。今回は、その中の一部を展示いたします。なつかしい風景や建物の写真、昔はこうだったのかと驚きの写真、様々な写真をご覧ください。

関東大震災でゆがんだ東北本線荒川橋梁の線路（『大正十二年鉄道震害調査書』鉄道省）



渡辺昭氏提供
赤羽復興会区画
整理完成大売出し（昭和30年）



北区政策提案協働事業「映像アーカイフによる街おこし」

活動弁士と訪ねる記憶への旅

～記憶をつなぐ映像体験～



「月世界旅行」より

【上映作品】月世界旅行、大東京祭

赤羽馬鹿祭り

【出演】活動弁士／澤登翠氏

サイレント映画ピアニスト／柳下美恵氏

【開催日時】5月24日(金) 午後7時～8時30分

【開催場所】北とぴあ6階 プラネタリウムホール

【定員】120名(抽選)

【申込方法】往復はがきまたはEメールで①住所②氏名③年齢④連絡先（電話番号・ファックス番号・Eメールなど）をご記入のうえ、5月10日(金)必着

【申込・問い合わせ】

〒115-0045 北区赤羽1-7-9 赤羽Metsビル7階
街づくり・フロンティア21

☎03-3903-1171 Eメール info@frontier21.jp.net

図書館の地域資料として利用する、昔の北区が映っている8ミリ・16ミリフィルムを探しています。また、ご家庭に眠る映像フィルムのDVD変換へのご相談も併せて行います。



北区政策提案協働事業

「映像アーカイフによる街おこし」とは?

失われつつある北区の昔の風景や暮らしを発掘・公開することを目的に、地域団体（街づくり・フロンティア21）と区（図書館・博物館）が協働で行う事業です。

今回のイベントは、この事業を多くの方々に知っていただくためのキックオフイベントです。

今後、北区の各地域で小規模上映会を開催しながら、各家庭で眠っている映像フィルム（8ミリ・16ミリ）を発掘していきます。

発掘したフィルムのうち北区の昔の風景や風俗が映っているものを編集、DVDに変換後、北区立図書館の地域資料として受入れ、貸出していきます。

皆さまのご協力をお願いします。



中央図書館
北区の部屋では
北区の歴史に
関わる資料を
探しています!!

皆さんのお宅に、北区
に関わる古い写真や地
図・文書などは眠って
いませんか?

中央図書館「北区の部屋」では、このよ
うな資料を地域資料として収集していま
す。江戸・明治期だけでなく、大正・昭和
の資料も地域を知るための大変貴重な資
料となりますので、ぜひ一報ください。

中央図書館 ☎ (5993) 1125代